



9月17日は

世界患者安全の日



患者さんの安全は
みんなで守るもの!



世界患者安全の日とは?

WHO (世界保健機関) が定めた
患者安全について考える国際デーです。

患者さん・ご家族・医療従事者が
協力しながら安全な医療を
実現することを目指しています。



今日からできる! 患者安全アクション

1 患者確認

「お名前を
教えてください」



患者確認は
医療安全の第一歩!

2 指差し呼称

- ✓「患者さんよし!」
- ✓「薬剤よし!」
- ✓「時間よし!」



確認行動を
見える化しましょう!

3 ダブルチェック



一人で判断しない
「もう一人の目」が
事故を防ぎます

セーフティⅠ から セーフティⅡ へ

セーフティⅠ

エラーや事故を
減らす



「なぜ安全にできた?」「なぜ事故にならなかった?」

成功体験を共有することで
さらに安全な医療へ!

セーフティⅡ

うまくいったことから
学ぶ



Good Job 報告を増やそう!

- ★ 丁寧な患者確認ができた
- ★ 声かけで転倒を防げた
- ★ チームで協力して安全に対応できた
- ★ リスクに気づき対応できた



皆さんの「Good Job」が
病院全体の安全文化を育てます!

8月のGoodJob報告

談話室で就寝薬服用後、自室ベッドに案内、低床ベッド対応を行い消灯。10分経過したところ部屋の前の廊下を長坐位でいざっているところを発見。理由を尋ねると「家に帰りたのに歩けない」と、介護士と協力し車椅子に移乗し本人の帰宅したいという理由について伺い、こちらの対応を繰り返しお話しすると、「病院に泊まる」と。自室ベッドに案内し就寝された。その日は日中から帰宅願望が強く、車椅子の自操を繰り返していたため、常にスタッフが見守る環境を作り、就寝時まで対応していた。

考 察

利用者様の帰宅したいという思いを否定せず、丁寧に話を聞きながら安心につなげ、事故を未然に防ぐことができたGoodJobです。日中からの様子を踏まえて見守りを継続し、スタッフが協力して安全を確保した点が評価できます。今後も利用者様の思いに寄り添いながら、行動を予測した安全な対応につなげていきましょう。

Good
Job

